

- 問1 奈良時代、律令に基づいて人々に課された租税のうち、絹、布、糸、あるいは各地の海産物などの特産物を都まで運んで納める義務を何と呼びますか。 (2024年 岡山県公立入試 類似)
1. 調 2. 雑徭 3. 庸 4. 租
- 問2 律令制度の基本原則の一つである土地制度について述べた次の文の空欄に適する語句の組み合わせを選びなさい。「律令国家は、戸籍に登録された6歳以上の男女に対して (①) を分け与え、死後に国へ返還させる班田収授の法を実施した。しかし、人口の増加に伴い支給する土地が不足したため、政府は743年に新しく開墾した土地の永久私有を認める (②) を制定し、土地の不足を解消しようとした。」 (2019年 神奈川県公立入試 類似)
1. ① 宅地 ② 公地公民の法 2. ① 口分田 ② 墾田永年私財法 3. ① 公田 ② 三世一身の法 4. ① 墾田 ② 班田収授の法
- 問3 7世紀後半に起きた壬申の乱を経て、天皇を中心とする中央集権体制の整備が進められました。この過程で、遣唐使が持ち帰った唐の進んだ制度を参考に、701年に刑法や行政法としてまとめられ、律令国家の法的な基盤となったものは何ですか。 (2019年 徳島県公立入試 類似)
1. 武家諸法度 2. 十七条の憲法 3. 御成敗式目 4. 大宝律令
- 問4 東大寺正倉院に収められている宝物の特徴と、その背景について説明したものとして最も適切なものを選びなさい。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)
1. 遣隋使が持ち帰った、中国の隋の時代の仏像や経典を中心に、日本独自の国風文化の影響を受けた品々が収められている。 2. 室町時代の足利義政が収集した、禅宗の影響を強く受けた水墨画や茶器など、簡素で気品のある品々が収められている。 3. 遣唐使の派遣などを通じて、西アジアや中央アジアの文化がシルクロード経由で伝わったことを示す国際的な品々が多い。 4. 平氏の全盛期に、瀬戸内海の海上交通の安全を祈願して各地から集められた、華やかな装飾品や武器が中心である。
- 問5 律令時代の戸籍に関する統計資料において、ある地域の登録者の大半が女性として記録され、男性の割合が不自然に低くなっている事例が見られます。このように性別や年齢を偽って登録が行われた最大の目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 徳島県公立入試 類似)
1. 都から地方へ移住する際の許可を得やすくするため 2. 兵役や労役、庸・調といった重い税の負担を免れるため 3. 貴族の荘園で働くための労働力を確保するため 4. 班田収授法によってより多くの口分田を受け取るため
- 問6 律令制度下の十世紀ごろの戸籍には、実際よりも女子の人数が極端に多く記録されるという不自然な統計が見られます。このように男子を女子と偽って登録する行為が横行した背景として、正しい説明はどれですか。 (2021年 静岡県公立入試 類似)
1. 男子には調・庸や雑徭といった重い負担が課されていたが、女子はそれらの負担が免除されていたため。 2. 土地の面積に応じて課される「租」の負担が男子にのみ集中しており、女子は納税の義務がなかったため。 3. 女子の方が男子よりも口分田を多く割り当てられる決まりがあり、より広い耕作地を得るため。 4. 当時の医療技術では男子の死亡率が非常に高く、家系を存続させるために女子として登録する必要があったため。
- 問7 710年に藤原京から平城京へと遷都が行われた背景や目的について、当時の国家体制の仕組みと関連させて説明したものとして、最も適切なものはどれか。 (2021年 静岡県公立入試 類似)
1. 僧侶の政治介入を防ぐために、東大寺などの有力な寺院を都の郊外に強制的に移転させ、政治と宗教を分断するため。 2. 東北地方の蝦夷に対する征討を進めるにあたり、軍事拠点としてより北方に位置する奈良の地が地理的に有利であったため。 3. 律令に基づいた天皇中心の中長集権的な政治体制を、国内外に誇示するために、より大規模で威容のある都が必要とされたため。 4. 遣唐使の派遣を停止し、日本の独自の風土に合った国風文化を醸成するために、大陸の影響を受けない新しい都を求めたため。
- 問8 743年に墾田永年私財法が制定された背景と、その目的を説明した内容として最も適切なものはどれか。 (2022年 徳島県公立入試 類似)
1. 武士の台頭を抑えるために、貴族の経済基盤を強化して朝廷の権威を回復させる目的で制定された。 2. 土地の売買を自由化することで、農民が借金を返済しやすくし、浮浪や逃亡を防ぐ目的で制定された。 3. 中国の唐にならって中央集権体制を確立するため、すべての土地を一度国家に回収し、改めて再分配する目的で制定された。 4. 人口の増加により食料となる米が不足していたため、土地を永久に自分のものにできるという保証を与えて、人々の開墾意欲を高める目的で制定された。
- 問9 7世紀から9世紀にかけて日本が唐へ派遣した使節について、その主な目的を説明したものとして最も適切なものはどれか。 (2016年 山口県公立入試 類似)
1. 朝鮮半島での利権をめぐる争いを有利に進めるため、唐と軍事同盟を結んで新羅を攻撃すること。 2. 唐の強力な軍勢力を背景にして、蝦夷と呼ばれた東北地方の人々を武力で平定し、領土を拡大すること。 3. 律令国家としての体制を整えるため、当時の先進国であった唐の政治制度や優れた文化を導入すること。 4. 国内の飢饉や疫病による混乱を鎮めるため、唐から大量の食料援助や医師の派遣を受けること。
- 問10 奈良時代の日本は、大陸の進んだ文化や仏教の経典を取り入れるために遣唐使を派遣しました。遣唐使が唐の都である長安に向かうための経路において、初期は九州から朝鮮半島の西海岸を北上して進む「北路」が一般的でしたが、のちに東シナ海を直接横断して揚州方面へと向かうようになった経路の名称を答えなさい。 (2016年 山口県公立入試 類似)
1. 南路 2. シルクロード 3. 東山道 4. 南海路
- 問11 藤原鎌足から不比等へと続く藤原氏の系図において、不比等の娘である光明子が聖武天皇の皇后として記されている時期の文化について、その特色として最も適切な説明を選びなさい。 (2020年 千葉県公立入試 類似)
1. 遣唐使などがもたらした大陸の文化や仏教の影響を強く受けた、国際色豊かな文化 2. 奥州藤原氏が平泉に本拠を置き、中尊寺金堂を建立した時期の東北地方独自の文化 3. 小野妹子が遣隋使として派遣された時期に、飛鳥地方を中心に栄えた日本最古の仏教文化 4. 藤原頼通が平等院鳳凰堂を建立した時期に、日本の風土や生活に合わせた優雅な国風文化
- 問12 藤原京や平城京などの都の跡地からは、当時の社会制度や人々の生活を知る手がかりとなる「木簡」が多数出土しています。この木簡が、歴史研究において果たしている役割についての説明として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 京都府公立入試 類似)
1. 地方から都へ納められた特産品などの荷札として、産地や品名が記されており、租・庸・調などの税制の実態を裏付ける史料となっている。 2. 武士が戦功を報告するための報告書として利用されており、封建制度における土地支配の仕組みを具体的に示す史料となっている。 3. 庶民が寺子屋で読み書きを練習するための教科書として利用されており、当時の識字率の高さを示す証拠となっている。 4. 大陸との外交交渉に使われた公式文書として、唐の皇帝とのやり取りが記されており、遣唐使の派遣ルートを解明する手がかりとなっている。